

労働千葉の基本 要求を対置し 首切り「三本柱」過員攻撃

労働千葉

85. 4. 15

No. 1916

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

84年度交渉部長会議開幕

4/12

四月十二日、十時より、一九八四年度交渉部長会議が動力車会館において開催され、「60・3」ダイ改交渉の経過と総括および首切り「三本柱」「過員」問題等を中心に活発な討論を行い、当面する取り組みについての意志一致をかちとりました。

「過員対策」で意見が集中

最初に本部を代表して山口副委員長より、情勢と85春闘勝利に向けた4・16総決起集会への最大の取り組み要請等のあいさつを受けました。

続いて西森交渉部長より「60・3」ダイ改交渉の経過と総括、首切り「三本柱」粉砕闘争の経過「車両検査周期の延伸および検査体系の変更」阻止の闘い、今後の具体的取り組みなどが一括提案され、直ちに質疑・討論に移りました。

質疑は各支部より主に、四月十一日に当局より提案された「余剰人員の活用策実施に伴う要員運用」について論議が集中しました。

- ① 動力車乗務員による通対、特改等の「過員活用」は反対であること。
 - ② 通勤対策での日勤の出勤時間が7時間30分では対象者が限定されること。
 - ③ 佐倉からの通勤対策は、五月一日からも引きつづき実施するのか。
 - ④ 「三本柱」の動向について
 - ⑤ 構内要員の将来展望と「職制改正」の矛盾について
 - ⑥ 転換教育の実施について
- などの意見と、各支部での過員対策、運転保安、検修対策などの具体的取り組みについても出されました。

「過員対策」等に対する 労働千葉の基本的考え

以上の質疑を受けて、本部から次のような考え方が明らかにされました。

- ① 「過員対策」について、一つは「60・3」ダイ改をめぐる団体交渉、トップ交渉のなかで、「60・3」と「過員」はセットの問題として協議すべきだ」と強く主張した。とりわけ、労働

強化の緩和と「過員」解消の視点から「時間調整の非番日」を要求し、公労委での「口頭勧告」が出された経緯があること。もう一点は、外注化した作業の直営化、運転車掌業務の移管などにより運転職場の業務を拡大すること。

以上が労働千葉の「過員対策」についての基本的考え方です。これを無視した「過員活用策」は認められません。早急に具体的要求をとりまとめ、提案に対置し解決を図ることとします。

② 構内要員の将来展望と「職制改正」の矛盾点については、検査・検修、士職の養成原資、高令者対策などを内包する問題があるので、本部と分科で充分検討し、団体交渉で解決することとします。

③ 転換教育の実施については、各支部で転換希望調査をしたうえで実施の方向で取り組むこととします。

などの本部答弁を受けて、次の具体的取り組みを満場一致、確認決定し、交渉部長会議は成功裡に終了しました。

具体的取り組み

- 1. 「60・3」ダイ改移行に伴う具体的問題を調査し、改善要求 行う。
- 2. 動乗協定の問題点については、動乗対策委員会に請査し、改善を図るとともに各支部において学習活動を行う。
- 3. 車両検査周期の延伸および検査体系の変更に ついては、台検作業の廃止に伴う、大修（車輪・主電機取替え）作業の実態調査を行う。
- 4. 特掃作業の拡大を図るため、検修対策委員会で作業内容を検討し、要求の集約を図る。
- 5. 「過員対策」については、別紙のとおり提案されているが、その活用策については、本部方針にふまえ、取捨選択し慎重に取り組む。

総決集しよう！津田沼へ！

85春闘勝利・首切り「三本柱」攻撃粉碎・謀略的組織破壊 攻撃粉碎 労働千葉総決起集会（津田沼電車区）
17時30分